

2014.4
第155号

看護かごしま

総会特集号



歴史と文化の道（鹿児島市）

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

平成25年度	
鹿児島県看護協会会員数	
保健師	445人
助産師	332人
看護師	9,538人
准看護師	992人
合計	11,307人

平成26年3月31日現在

※前年同月より 387 人増となっております。

Contents

会長 ごあいさつ	2
通常総会骨子	3~13
副院長の部屋(新コーナー)	15
めざせ認定看護師(新コーナー)	16~17
教育委員会研修報告	18~19
ナースセンターだより	20~21
お知らせ	22~23
理事会報告	24



ごあいさつ

公益社団法人鹿児島県看護協会会長 平川 涼子

鹿児島県看護協会は、日本助産婦看護婦会を本部として、昭和23年に保健婦部会、助産婦部会、看護婦部会の3つの職能部会を設立したのが始まりです。昭和53年3月に社団法人鹿児島県看護協会、平成24年4月に公益社団法人鹿児島県看護協会へと移行し、「県民の健康生活の実現に寄与する職能団体」として本年で67周年を迎えます。入会施設数は427、会員は、保健師445人、助産師332人、看護師9538人、准看護師992人と合わせて11,307人、うち男性会員は909人（H26年3月現在）の組織へと成長しております。

本会はこれまで、皆様や諸先輩方のご協力のもと、地域イベントでの救護活動や一日まちの保健室活動、災害支援看護師や医療安全管理者の育成、クリニカルラダー別研修、看護学会の開催、看護職への無料職業紹介や職業相談、訪問看護事業など、様々な公益事業を展開してまいりました。平成26年度は、重点事業を6点あげております。「看護職確保対策の推進」「健康で安心して働き続けられる職場づくり」「在宅・介護領域を支える看護職能の強化・充実」「看護の質向上」「協会活動の情報発信の強化」「会員サービスの強化と会員増」です。提出議案は、昨年に引き続き鹿児島県看護協会名誉会員の推薦、役員改選、日本看護協会代議員の選出等です。報告事項は、平成25年度事業・決算報告、平成26年度事業計画・予算等になります。皆様の活発なご議論をどうぞよろしくお願い致します。

総会終了後は、公益社団法人日本看護協会会長 坂本すが氏をお迎えし、三職能合同集会を開催いたします。「看護の将来ビジョン」のテーマで、2025年問題を見据え、これからの看護のあり方や看護職の働き方等についてお話しいただきます。皆様がますます元気になれるよう強力にエンカレッジして下さると思います。

さて、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目前に、医療・介護提供体制が大きく変わります。医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実など病床機能の明確化や退院後の生活を視野に入れたケアの推進（在宅復帰）が求められ、多職種によるチーム医療が主流となります。また、今年、看護職に関連した法律改正も予定されており、特定行為に係る研修制度の創設や看護師等免許保持者のナースセンターへの届け出制度の創設があがっております。こうした動きを考えると、少子高齢多死社会をどう乗りきるかは、看護職の働き方にかかっていると言っても過言ではありません。

今年度は、公益社団法人3年目として、組織整備や広報活動の強化・会員増、会員サービスの見直しなど本会の発展と、看護職の役割がさらに見えるよう努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

平成 26 年度 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会プログラム

開催日 平成 26 年 5 月 24 日(土)

場 所 鹿児島県看護研修会館

- 9:00 受 付
 9:20 オリエンテーション
 9:30 開 会
 物故会員への黙祷
 会長挨拶
 来賓祝辞
 来賓紹介
 祝電披露
 鹿児島県看護協会会長表彰
- 10:00 休 憩
 10:15 総会開会
 議長団の選出
 議事録署名人選任
- 10:20 審 議
 議題
 第 1 号 平成 25 年度事業報告書の内容報告の件
 第 2 号 同決算承認の件（第一号議案）
 第 3 号 公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の推薦の件（第二号議案）
 *鹿児島県看護協会名誉会員の紹介・表彰
 第 4 号 平成 26 年度改選役員及び推薦委員の選出の件（第三号議案）
 第 5 号 平成 27 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出の件（第四号議案）
 第 6 号 平成 26 年度事業計画書の内容報告の件
 第 7 号 平成 26 年度収支予算報告の件
 平成 26 年度 選挙管理委員任命
- 12:00 新旧役員挨拶
 看護協会歌合唱
- 12:15 閉 会

三職能合同集会（総会終了後開催）

- 13:30 開 会
 特別講演
 公益社団法人日本看護協会 会長 坂本 すが氏
 テーマ「看護の将来ビジョンについて」
- 15:00 各職能委員長報告
- 15:30 閉 会

おしらせ

- ① 県看護協会の総会要綱及び地区集会要綱は平成 26 年 1 月の本紙に掲載したとおり、平成 26 年度から会員すべてではなく、個人会員は全員、勤務先のある方は、施設ごとに希望数配布することとなりました。総会要綱の主な概要を会員様全員にお知らせするために、平成 26 年 4 月号の「看護かごしま」を総会特集号としました。
- ② 総会での「綱領宣言廃止」について
 先に開催された日本看護協会理事会において、綱領宣言の廃止が決定されたことに伴い、本会においても、平成 26 年 3 月 15 日開催した理事会において、平成 26 年度総会から朗読しないことが決定されました。

平成26年度改選役員及び推薦委員の選出（第三号議案）

（理由） 役員・推薦委員の任期終了により、定款及び定款施行細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

平成26年度 役員候補者

役職名	定数	改選	氏名	現・新
会長	1	1	平川 涼子	現
副会長	2	1	田畑 千穂子	新
専務理事	1	1	原田 ケイ子	新
助産師職能理事	1	1	吉留 厚子	現
看護師職能理事I	1	1	岩下 邦子	新
地区理事	7	4		
鹿児島	1	1	長田 いつよ	現
南薩	1	1	中間 早苗	新
出水	1	1	木山 淳子	新
大隅	1	1	前野 かつ子	新
准看護師理事	1	1	中島 久美子	新

平成26年度 推薦委員候補者

職能名	候補者名	現・新
保健師	福田 みゆき	新
助産師	酒匂 英子	新
看護師	伊豆元 智津子	新
	兒嶋 昭子	新
	小玉 博子	新
	田畑 知子	新
	淵上 淳子	新

候補者紹介

役職	候補者名	所属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
会長	平川 涼子	公益社団法人 鹿児島県看護協会	教育委員 4年間 学会査読委員 9年間 認定看護管理者教育運営委員 3年間 規約委員 2年間	2025年問題の解決に向け、医療・介護提供体制の大きな変革が始まり、看護職への期待が大きくなっております。会長として2期目となりますが、WLBの推進、看護の質向上・看護の役割拡大、施設在宅看護の充実、会員拡大等、多くの課題があります。皆様が生き生きと働き続けられるように、そして県民の方々がさらに満足していただけるよう看護協会活動を工夫してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
副会長	田畑 千穂子	鹿児島大学医学部・ 歯学部附属病院	鹿児島地区支部 会計 1年間 認定看護管理者制度教育運営委員 3年間 認定看護管理者演習支援担当 3年間 助産師出向支援モデル 事業協議会委員 1年	この度、副会長への推薦を受けました。超高齢者化社会への医療改革の時を、県民や会員の皆様のニーズに応えられるよう、会員増、看護職確保と育成、WLBの推進、助産師出向事業等の協会活動の支援に努めて参ります。
専務理事	原田 ケイ子	(前) 鹿児島県難病 相談・支援センター	教育委員 2年間 ALS患者の在宅療養支援検討委員 1年間 記念誌編集委員 1年間 保健師職能委員 2年間 保健師職能委員長 2年間	この度、専務理事への推薦をお受けすることになりました。微力ではありますが、各分野に従事する看護職が関係団体等と連携し、「県民の健康な生活の実現に寄与する」という本会の目的達成の取組みに、精一杯頑張る所存です。
助産師職能理事	吉留 厚子	鹿児島大学医学部 保健学科	ファーストレベル教育委員 2年間 認定看護管理者教育制度教育委員 4年間 助産師職能委員長 4年間	助産師職能委員長4年間に、全国統一の助産師クリニカルラダーが始まり、県内の助産師への周知や、助産師出向モデルの運営に関わってきました。引き続き、助産師の課題に取り組んでいきたいと思っています。
看護師職能理事I	岩下 邦子	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	看護師職能委員 4年間	2期4年間の看護師職能委員の経験を生かし、これまでの職能委員会の活動を更に充実させ、県内の看護職の皆様が元気でいきいきとやりがいを持って働いていけるよう尽力したいと思います。

役 職	候補者名	所 属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
鹿児島地区理事	長田いつよ	公益社団法人 鹿児島市医師会病院	鹿児島地区支部評議員 (公益) 平成6・7年 2年間 鹿児島地区理事 平成 24年・25年	この度2期目の鹿児島地区理事の推薦を受けました。“明るく楽しく地区活動”をモットーに評議員や会員の皆様には御指導・御支援を賜りながら地区活動を推進していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。
南薩地区理事	中間 早苗	独立行政法人国立病院 機構指宿医療センター	南薩地区公益委員2年間	この度、南薩地区理事への推薦を受けました。南薩地区は6市で成っており広域である為役割を十分に果たせるか不安ですが委員と連携を取りながら地域の看護の向上と地区会員の皆様が看護師として安心安全に働けるように環境づくりに努めて参りたいと思っております。
出水地区理事	木山 淳子	出水郡医師会広域医療センター	医療・看護安全対策検討委員6年間	今回、出水地区理事に推薦を受けました。微力ではありますが、重責を果せますよう、一生懸命務めさせていただき所存です。宜しくお願ひ致します。
大隅地区理事	前野かつ子	医療法人青仁会 池田病院	災害看護検討委員3年間 訪問看護師養成講習運営委員5年	この度、大隅地区理事への推薦を受けました。新人教育や医療安全教育等で培った団結力を活かし、地区での教育環境整備やネットワークの構築を図りたいと思っております。
准看護師理事	中島久美子	公益財団法人慈愛会 谷山病院	看護師職能委員2年	地区会員の皆様との交流を楽しみにしています。看護師職能委員として2年間活動に参加してきました。今回准看護師理事に推薦され、今まで職能委員で学んだことを生かして役割を果たせるよう微力ながらですが努力していきたいと思っております。
推薦委員 (保健師)	福田みゆき	南薩地域振興局保健 福祉環境部(加世田 保健所)	なし	看護協会活動が円滑に運営されますように、皆様のご意見をお聞きしながら、委員としての役割を果たすことができるよう、努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。
推薦委員 (助産師)	酒匂 英子	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	なし	今回初めて推薦委員に推薦されました。その役目を果たせるか不安ではありますが、他施設の方々と交流を深め指導を頂きながら委員としての役割を果たせるように頑張りたいと思っております。
推薦委員 (看護師)	伊豆元智津子	社会医療法人緑泉会 米盛病院	県看護協会推薦委員1年 県看護協会業務委員4年	看護協会の運営、活動に少しでもお役に立てる様与えられた役割を担っていく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。
	兒嶋 昭子	鹿児島県立北薩病院	広報委員長1年	会員の皆様のご意見をお聞きし、委員として活躍できるよう努力致します。どうぞよろしくお願ひいたします。
	小玉 博子	公益社団法人鹿児島 共済会 南風病院	なし	これまでは一会員としてたくさんの研修に参加させて頂きました。今回初めて推薦委員に推薦して頂き、協会活動への強い責任を感じております。これまでの諸先輩方の活動を引継ぎ、協力して協会活動が円滑に運営される一担をお手伝いできればと願っております。
	田畑 知子	県民健康プラザ鹿屋 医療センター	大隅地区公益委員3年 大隅地区評議員(書記)4年 大隅地区評議員1年	委員としての役割が果たせるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願ひいたします。
	淵上 淳子	出水総合医療センター 高尾野診療所	出水地区看護協会第1 副地区長2年 出水地区看護協会地区 長2年	看護協会活動が円滑に運営されますように、専門職能団体として社会で果たすべき役割を理解し、会員の皆様の意見が反映できるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願ひいたします。

平成 27 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出（第四号議案）

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して、代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

日本看護協会の代議員数は750名であり、都道府県ごとに正会員数に応じた割合の代議員を選出することになっており、鹿児島県看護協会の定数は12人であるので、代議員12人と予備代議員12人の選出について提案する。

なお、選出された者は、平成27年度日本看護協会通常総会に出席し、鹿児島県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に出席）として議決権を行使するものである。

平成 27 年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者一覧

代議員 (12名)	氏名	施設名
	原田 ケイ子	(前)鹿児島県難病相談・支援センター
	宮ノ下 洋美	鹿児島県難病相談・支援センター
	園田 良子	鹿児島市立病院
	岩下 邦子	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院
	日向 みさ子	居宅介護支援事業所ひなた
	長田 いつよ	公益社団法人鹿児島市医師会病院
	中間 早苗	独立行政法人国立病院機構指宿医療センター
	山田 七生美	医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
	小船井 千裕	社会医療法人昴和会 内山病院
	永田 清美	医療法人青雲会 青雲会病院
	村山 育美	医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院
坂井 まゆみ	学校法人日章学園 奄美看護福祉専門学校	

予備代議員 (12名)	氏名	施設名
	原田 ゆう子	公益財団法人慈愛会鹿児島中央看護専門学校2年課程(通信制)看護科
	田中 睦美	南薩地域振興局保健福祉環境部(加世田保健所)
	吉留 厚子	鹿児島大学医学部保健学科
	松原 幸江	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
	上野 美津子	社会福祉法人中江報徳園 特別養護老人ホームひまわり園
	尾方 智恵子	公益財団法人慈愛会 今村病院分院
	有村 高	医療法人博悠会 博悠会温泉病院
	寺脇 佐代子	社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院
	木山 淳子	出水郡医師会広域医療センター
	大西 めぐみ	医療法人青雲会 青雲会病院
	久保 千代子	公益社団法人 曾於医師会立有明病院
古木 千春	医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院	

平成 26 年度 選挙管理委員（議長の任命）

選挙管理委員会は、定款施行細則第25条により設置されており、選挙及び選挙管理委員会に関する規程第5条により、11人をもって組織し、各地区長が推薦し、議長が任命することとなっている。任務は、同規程第6条により、選挙に関する公示、立候補又は立候補届出の受理、立候補者及び推薦候補者の公示、投票及び開票の管理等である。

なお、これらの業務を円滑に行うため、任期は、平成26年5月25日（総会の翌日）から平成27年度総会の当日までとする。

	地区名	氏名	勤務先
1	鹿 児 島	宮 田 径 代	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
2		新 澤 恵	公益社団法人 鹿児島市医師会病院
3		瀬 下 久 美	鹿児島医療生活協同組合鹿児島生協病院
4	南 薩	有 村 高	医療法人博悠会 博悠会温泉病院
5	川 薩	久 保 田 祥 子	公益社団法人 薩摩郡医師会病院
6	出 水	木 藤 恵	医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
7	始 良 伊 佐	久 徳 博 子	独立行政法人 国立病院機構南九州病院
8		松 尾 由 弥	医療法人玉昌会 加治木温泉病院
9	大 隅	中 崎 章 子	医療法人愛誠会 昭南病院
10		田 代 良 一	垂水市立医療センター 垂水中央病院
11	大 島	登 山 初 美	公益社団法人 大島郡医師会病院

公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の推薦（第二号議案）

本会定款第5条第1項第3号において、名誉会員は、看護事業に顕著な功績のあった保健師、助産師、看護師又は准看護師であって理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたものとなっている。本人の承諾の得られた次の2名を本会名誉会員として一括推薦する。

年齢（平成25年度）／50音順

●徳丸 垂水子（81歳）

（推薦理由）

- 昭和30年4月から昭和32年12月まで、鹿児島市立病院看護師、昭和33年7月から昭和47年3月まで国立加治木療養所看護師、昭和47年4月から昭和58年12月まで国立鹿児島病院看護師長、昭和59年1月から平成6年12月まで鹿児島市医師会病院総看護師長として勤務した。その後、平成11年4月から平成12年3月まで財団法人児玉報謝会成人病院看護部顧問、平成12年4月から平成17年9月まで医療法人仁風会日高病院総看護師長として勤務するなど、永年にわたり看護事業に顕著な功績があった。
- 併せて、県看護協会会長として協会活動に貢献した。
- 鹿児島県看護協会（日本看護協会県支部含む）会員歴46年、県看護協会会長・副会長・教育委員、鹿児島県知事表彰・日本看護協会会長表彰

●新納 徳子（80歳）

（推薦理由）

- 昭和29年4月から昭和36年7月まで大口保健所保健師、子育てのため退職後昭和47年6月から平成7年3月まで加治木町役場保健師（退職時は課長職）として勤務した。平成7年11月から平成8年4月まで医療法人社団隼仁会老人保健施設はやびと指導員、平成9年4月から平成14年3月まで加治木望岳園デイサービス並びに高井田保育園子育て支援室長、居宅介護支援センター長、平成14年から平成18年まで、健康推進財団訪問指導、地域密着型サービス調査員、平成15年から現在まで伊佐市在宅保健師、介護保険認定審査会委員等に從事しており、永年にわたり看護事業に顕著な功績があった。
- 併せて、県看護協会副会長として協会活動に貢献した。
- 鹿児島県看護協会（日本看護協会県支部含む）会員歴48年、鹿児島県看護協会第二副会長・始良伊佐地区理事・訪問看護ステーション検討委員・訪問看護ステーション準備委員・ケアマネジメント検討委員、日本公衆衛生協会会長表彰・鹿児島県知事表彰・県公衆衛生協会会長表彰・日本看護協会会長表彰

お知らせ 平成26年度職能委員決定！

職能委員は定款第44条第4項及び定款施行細則第24条第1項により、推薦委員が推薦し、理事会において選任することとなっている。平成26年3月15日の理事会で右記のとおり決定した。

なお、任期は平成26年6月1日～平成28年5月31日（2年間）とする。

役 職	氏 名	勤 務 先	現・新
保健師職能委員	宮ノ下洋美	鹿児島県難病相談・支援センター	新
	須賀栄子	JA鹿児島県厚生連健康管理センター	新
	森 隆子	鹿児島大学医学部保健学科	新
	江籠平菊代	鹿児島市南部保健センター	新
助産師職能委員	的 場 美 香	独立行政法人国立病院機構指宿医療センター	新
	福留美由紀	鹿児島市立病院	新
	上大蘭順乃	県民健康プラザ鹿屋医療センター	新
	原田美由紀	産科・婦人科久米クリニック	現
看護師職能委員I	日 隈 利 香	鹿児島大学医学部保健学科	現
	桑 俣 修 一	社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院	新
	堂 園 文 子	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター	新
	松 原 幸 江	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	新
看護師職能委員II	濱 島 典 子	垂水市立医療センター垂水中央病院	新
	高 祖 由 美	訪問看護ステーション優美	現
	上野美津子	社会福祉法人中江報徳園特別養護老人ホームひまわり園	現

平成 25 年度事業報告（議題第 1 号）

◎ 平成 25 年度におけるトピックス及び主な新規の取組のみ掲載。

理事会報告、事業報告（鹿児島県看護協会全体）、職能委員会報告、常任委員会報告、特別委員会報告、推薦委員会報告、選挙管理委員会報告、倫理委員会報告、ワーク・ライフ・バランス推進評価委員会報告、地区活動報告、日本看護協会理事会報告、地区別法人会報告（九州地区）については、総会要綱に掲載する。

● トピックス

- 1 日本看護学会（老年看護）学術集会開催（7月25日・26日）
- 2 本会の東日本大震災における被災者の支援活動等に対して、厚生労働大臣感謝状受領（平成25年5月9日 県庁）
- 3 県との災害協定の締結（平成26年3月28日）

● 新規の取組

- 1 地域医療再生臨時特例基金事業関係
 - (1) 在宅医療・ターミナルケア人材育成事業
 - ①エンドオブライフケア研修会の開催
 - ②訪問看護に係るパンフレットの作成・配布
 - (2) 一般病院医療従事者認知症対応力研修事業
 - ①一般病院医療従事者認知症対応力研修事業
 - ②一般病院看護師リーダー研修
 - (3) 看護師等確保対策事業
 - ①働き続けられる職場づくりの普及啓発
 - ②再就業支援セミナーの大隅地区での開催
 - ③潜在助産師再就業支援セミナーの開催
 - ④県内就業促進のための看護学校訪問
- 2 新人看護職員研修事業（多施設合同研修事業）
県から受託して、南薩・大隅・熊毛（鹿児島地区）で実施
- 3 助産師出向支援モデル事業の日本看護協会からの受託
- 4 ハローワーク鹿児島での相談の開始
- 5 看護補助者の教育を担う教育担当者の研修
- 6 看護師職能委員会Ⅱの取組開始
- 7 ホームページのリニューアル及び看護学校養成所ホームページとのリンク
- 8 会員の福利厚生向上（ハーモニーランド招待等）

25 年度決算報告について（第一号議案）

平成 25 年度決算については、監事の監査を受けたうえで理事会（4月26日）の承認を経て、26年度通常総会（5月24日）に議案として提出します。なお、理事会の承認を受けた後、決算の概要をホームページに掲載します。

平成26年度重点事業（議題第6号）

本会は、平成24年4月に公益社団法人鹿児島県看護協会として新たなスタートをきり、「県民の健康生活を実現し公衆衛生の向上」を図ることを最終目的に、「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「在宅ケア」を推進している。

本県では、高齢化率が26.5%と高く、中でも後期高齢者の割合が高くなっており、医療ニーズも多様である。また、看護職の離職率は改善傾向にあるものの、新卒者の県内就業率は低く、看護職員の確保が課題となっている。このため、平成25年度は県の地域医療再生計画事業等に応募し、看護職員の確保、在宅医療・ターミナルケア人材育成事業や日本看護協会の助産師出向支援モデル事業に取り組む等、本県の地域特性を踏まえた事業に取り組んでいる。具体的には、看護職の再就業支援セミナーの大隅地区での開催や助産師の再就業支援セミナーの開催、ナースセンター職員によるハローワークでの相談や看護学校養成所の訪問、一般病院の医療従事者を対象とした認知症対応力向上研修等を実施した。

一方、本会は、役員等が看護の立場から行政・他団体等の各委員会の委員や介護認定審査会等の委員として就任するとともに、7つの地区においても研修会や健康相談等、地区活動が活発になされ、県民の期待に応えられるよう努めているところである。

このような状況を踏まえ、本会の目的を達成するため、平成26年度の重点事業を次の6項目とし、行政や関係団体と協働しながら各事業を進めていきたい。

- 1 看護職確保対策の推進（新）
- 2 健康で安全に働き続けられる職場づくり ～ワーク・ライフ・バランスの推進～
- 3 在宅・介護領域を支える看護機能の強化・充実
- 4 看護の質の向上
- 5 協会活動の情報発信の強化
- 6 会員サービスの強化と会員増（新）

* 県内の看護職を取り巻く状況等

看護職及び看護協会の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の看護職就業者数(平成24年末) <ul style="list-style-type: none"> ・職種別：保健師 845 人、助産師 526 人、看護師 19,275 人、准看護師 10,709 人 計 31,355 人 ○看護協会会員数(平成26年3月末) <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 11,307 人、入会率は就業者平成24年末の 35.9% (全国 46.9%) ・職種別入会者率：保健師 445 人(52.7%・全国 45.6%)、助産師 332 人(63.1%・全国 72.3%)、看護師 7,441 人(49.5%・全国 58.6%)、准看護師 992 人(9.3%・全国 11.8%) ○県内看護師養成状況(平成25年4月末現在) <ul style="list-style-type: none"> ・保健師3校、助産師3校、看護師24校(大学2校、3年課程13校、5年一貫6校、2年課程3校)、准看護師6校 ※助産師は平成26年度から大学院で養成(1校) ○看護職の離職率(日本看護協会調査) <ul style="list-style-type: none"> 常勤看護職員：平22県 11.3% (全国 11.2%) 平23県 10.9% (全国 10.9%) 平24県 10.7% (全国 11.0%) 新人看護職員：平22県 13.6% (全国 8.6%) 平23県 6.9% (全国 7.5%) 平24県 5.8% (全国 7.9%) ○認定看護師等(平成25年10月2日現在、日本看護協会ホームページ) <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師 168 人(21分野中不妊症看護、認知症看護は0)、専門看護師0、認定看護管理者 17 人 * 認定看護師は、前年度より 28 人増加、専門看護師のいない県は本県を含めて2県 ○看護師の副院長：13 人 ○災害支援ナース登録数：83 人(平成25年度末) ○県看護協会医療安全ネットワーク：7 地区 ○各種委員会：種類 22(職能4、常任15、特別3) 委員数 193 人 ○広報手段：ホームページ(平成25年9月末リニューアル)、広報紙(看護かごしま、季刊) ○委員就任：県・鹿児島市等委員就任 76 人、各市町村認定審査会委員、各市町村障害区分認定審査会委員 ○協会事業：無料職業紹介所 訪問看護ステーションかごしま 居宅介護支援事業所
人口	<p>人口 1,700,242 人、65 歳以上人口 26.5%、75 歳以上人口 14.8%、年少人口 13.7%</p> <p style="text-align: right;">(平成22年国勢調査)</p>

平成 26 年度事業計画（議題第 6 号）

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための事業等を 7つの地区と連携し、次のとおり行う。

○事業（定款第 4 条）

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

○主な新規の取組

1. 新たな財政支援制度にかかる事業の検討
2. 地域医療再生臨時特例基金事業の拡大
3. 地区における研修の充実（感染対策・褥瘡ケアの基礎）
4. 新人看護職員研修事業（多施設合同研修）の拡大
5. 認知症対応力の向上（研修の拡大）
6. 医療安全管理者の e-ラーニングによる養成
7. 県との災害協定後の計画書作成等

*各事業の実施に当たっては、業務執行理事が関連委員会の総括者として、すべてに関与する。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

★新規

項目	内 容	関係委員会等
1 看護教育制度に関する情報収集		
1) 看護師基礎教育に関する事 2) 保健師・助産師教育大学院化に 関すること 3) 准看護師への支援	a) 日本看護協会理事会出席 b) 厚生労働省審議会等の動向把握 c) 助産師教育大学院の周知 ★ a) 進学支援 b) 研修支援；現状調査と研修ニーズの把握 c) 関係機関団体との連携	・業務執行理事 ・職能委員会 ・業務委員会 ・地区長
2 継続教育の充実 重点 4		
1) 県協会研修会の企画と実施		
①一般研修 (衛星放送、インターネット配信含む)	a) 教育研修事業の企画、実施 b) 教育研修事業の改善・検討 (研修毎のアンケート調査をもとに) c) クリニカルラダーレベル研修の充実	・教育委員会
②職能委員会企画の研修(県委託含む)	a) 保健師研修会：専門性を高める研修 b) 助産師研修会：助産技術の向上 (地区での研修含む) c) 看護師研修会：退院支援の充実 d) 介護・福祉施設で働く看護師研修会：役割 e) 准看護師研修会：エンド・オブ・ライフケア (高齢者の看取り)	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・地区長 ・看護師職能委員会 I ・看護師職能委員会 II ・看護師職能委員会 I
重点 3		
③県受託・補助研修	a) 実習指導者講習会 b) 高齢者権利擁護等推進事業における看護職員研修 c) 訪問看護師養成研修（ステップ 1） (e ラーニング受講修了者の受入) 訪問看護フォローアップ研修 d) 一般病院医療従事者認知症対応力向上研修 ・一般病院看護職員リーダー研修（平 25～） e) 在宅医療ターミナルケア人材育成事業 ・エンド・オブ・ライフケア研修会（平 25～） ・居宅サービス事業所等で働く看護職員の研修	・ナースセンター
重点 3		
2) 地区研修の推進 重点 4	a) 協会研修の出前研修 b) 非会員への研修支援	・地区長
3) 地区研修の充実	a) 地区での研修の企画・実施 b) 地区内でのブロック別研修の実施	・教育委員会 ・地区長
4) 認定看護師の活用・支援	a) 認定看護師キャリアアップ研修 b) 認定看護管理者の支援・活用	
3 認定看護管理者教育		
1) ファーストレベル教育事業	a) ファーストレベル教育企画・運営	・認定看護管理者教育 運営委員会
2) セカンドレベル教育事業	a) カンドレベル教育企画・運営 b) セカンドレベルフォローアップ研修 c) サードレベル教育の受講促進	
4 看護学会に関する事業	a) 鹿児島県保健看護研究学会の開催 b) 看護研究の質向上への取り組み c) 日本看護学会の開催案内	・学会委員会 ・教育委員会 ・業務執行理事

2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内容	関係委員会等
1 働き続けられる職場づくり 重点2 (1) 「ワーク・ライフ・バランス」の推進	a) ワーク・ライフ・バランスワークショップ開催(県受託) ワークライフバランス推進評価委員会による体制づくり b) かえるプロジェクトの推進 c) 地区との共催事業；ノ・残業day実施	・ ナースセンター ・ 社会経済福祉委員会 ・ 3職能委員会
(2) 病院・施設責任者への働きかけ	a) 労働局企画委員会への参画 b) 関係者への労務管理研修 c) 働きやすい組織風土作り	・ 業務執行理事 ・ 業務委員会(5月まで) ・ 地区長
(3) 介護領域における看護機能の充実 重点3	a) 介護施設・福祉施設で働く看護師研修	・ 看護師職能委員会Ⅱ
(4) 看護職の卒後臨床研修制度の推進(県委託) ①研修担当者研修 ②実地指導者研修 ③新人看護職合同研修 ④新人助産師合同研修	a) プロジェクトチームによる研修実施 ・ 各施設へ；研修体制の整備への支援 ・ 関係機関団体との連携 ・ 地区事業との連携 ・ 3地区で実施(平成25年度～) 鹿児島、始良伊佐、大隅	・ 新人研修プロジェクトチーム ・ 地区長 ・ 助産師職能委員会
(5) 看護職のリフレッシュ	a) リフレッシュ研修等の充実 b) 会員交流	
2 看護職確保対策の推進(県委託) 重点1 (1) 再就業相談事業	a) 看護師等無料職業相談、紹介 b) 看護職員需要施設実態調査 c) ナースセンター便りの発行 d) 届出制度の動向と適切な対応	・ ナースセンター
(2) 潜在看護師等就業支援	a) 再就業支援セミナー開催 ・ 川薩・熊毛★(平成25～2地区) ・ 注射・採血に特化した技術研修の検討★ b) 助産師再就業支援セミナーの開催(平25・26) c) セカンドキャリア支援	・ ナースセンター ・ 地区長
(3) ナースセンターの利用促進	a) 看護学校・養成所訪問 b) ハローワークでの相談(平成25～) c) 中・高校の進路指導教員との連携★ d) 職業紹介に関する関係機関との連絡調整	・ ナースセンター
(4) 助産師出向支援モデル事業	a) 助産師地域偏在の改善 b) 助産師実践能力の強化 (平25・26 日本看護協会から受託)	・ 業務執行理事
(5) 小・中・高校生への支援	a) 進路支援(看護への道)出前授業 b) 性教育・命の授業等の実施	・ ナースセンター ・ 助産師職能委員会 ・ 地区長

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項目	内容	関係委員会等
1 看護業務に関する看護の質の保証の推進 1) 看護業務に関する検討	a) 看護業務の整理・役割拡大、他職種との連携等の検討、特定能力認証制度の審議の動向等の情報発信 b) 看護補助者の教育を担う教育担当者の研修 c) 夜勤交代制勤務の実態調査★ d) 在宅療養の支援に関する調査★ e) 地区における新人看護職卒後研修に係る院内教育委員の活動状況調査 f) 地区における研究・発表 g) 看護工夫点の開催	・ 業務執行理事 ・ 教育委員会 ・ 社会経済福祉委員会 ・ 保健師職能委員会 ・ 助産師職能委員会 ・ 看護師職能委員会Ⅰ ・ 看護師職能委員会Ⅱ ・ 地区長
2 職能委員会活動	a) 職能独自の問題の検討・提言 労働環境、業務整理、3職能の役割拡大等 新人研修、基礎教育のあり方検討	
3 実態把握	a) 国及び日看協の統計等の情報収集・分析 b) 看護部長等のメーリングリストの活用 c) 各地区への訪問 ★	・ 業務執行理事 ・ 各委員会
4 県等への要望活動	a) 要望書の提出	

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内容	関係委員会等
1 県民の健康づくり推進に関する事業		
1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み	a) 関係機関の連携会議等への参加・協働 体育の日健康づくりイベント参加 b) 健康相談、計測等	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・ナースセンター ・看護の日委員会 ・各地区長 ・たばこ対策委員会 (平成26年度看護週間事業まで)
・「まちの保健室」事業の普及啓発 ・たばこ対策の推進と普及	a) 「まちの保健室」の開催 (地区事業含む) a) まちの保健室で普及 b) 他団体との連携 c) 広報活動	
2) 子供・高齢者虐待予防対策への取組	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席	・事業担当者
3) 生涯を通じた女性の健康支援	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会
4) がん対策支援	a) 関係機関団体との連携・委員の推薦 b) 普及啓発運動 c) 研修会の開催 d) イベント活動への参加：ピンクリボン月間 リレー・フォー・ライフジャパンへの協力	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・パワフルage委員会 ・業務執行理事
5) 感染症対策支援	a) 関係機関団体との連携	
6) 医療・看護安全に関する支援	a) 関係機関団体との連携 b) 情報提供 c) 看護110番相談の実施	
7) 地域医療連携計画への参加	a) 行政(県・市)の会議参加 b) 関係機関との連携	
8) 難病・障害者支援	a) 関係機関との連携・会議等への出席 b) 障害程度区分認定審査会委員の推薦	
9) 自殺対策	a) ゲートキーパー養成(鹿児島地区 平25～) b) 自殺予防街頭キャンペーン参加	・地区
2 次世代育成支援		
1) 次世代育成支援事業の推進	a) 思春期対策への取り組み ・性教育授業の組織化・推進 b) 子育て支援 c) 啓発活動推進 d) 関係機関との連携	・助産師職能委員会 ・ナースセンター
3 地域保健活動の推進		
1) 地域ニーズに応じた保健活動	a) 保健活動の充実、スキルアップ b) 従事者間のネットワークの強化 九州ブロック会議、保健師長会など 保健師基礎教育のあり方検討	・保健師職能委員会
4 介護保険制度の適切な運用の推進		
1) 介護保険事業の推進	a) 関係機関団体との連携・協力 b) 介護認定審査委員の推薦	・訪問看護ステーション 運営委員会 ・業務執行理事 ・地区長
5 訪問看護事業 重点3		
1) 訪問看護相談支援事業	a) 訪問看護相談支援センターの充実 b) 訪問看護支援ネットワークの拡大 c) 訪問看護師研修支援 d) 訪問看護アドバイザーの活用 e) 地区での訪問看護研修支援	・訪問看護ステーション ・訪問看護ステーション 運営委員会
①訪問看護に関わる総合相談の対応・体制整備 ②訪問看護に関わる情報収集 ③訪問看護の質の向上		
2) 「訪問看護ステーション」に関する事業	a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 訪問看護の質・技術の向上 c) 関係機関・関係団体の連携・協力 d) 看護師・看護学生・医学生の実習受け入れ e) 地域のニーズの把握★	・訪問看護ステーション 運営委員会 ・鹿児島県訪問看護 ステーション協議会
①事業の適正運営 ②経営基盤の強化 ③広報活動(地域住民、会員・会員外への事業紹介) ④ネットワークづくり		
3) 居宅介護支援事業所に関する事業	a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 介護保険制度改正に向けて情報収集 c) ケアマネジャーの質・技術向上	
①居宅介護支援事業所の適正運営 ②関係機関・関係団体との連携協力		
6 在宅における人材育成	a) 県の「在宅チーム医療人材育成事業」への参画 b) 市町村の地域包括ケアシステム構築への参画	・地区長・担当者 ・業務執行理事
7 医療看護安全に関する事業		
1) 医療・看護安全対策に関する情報収集	a) 地域における取り組みに関する情報収集と支援	・地区ネットワーク病院

項目	内容	関係委員会等
2) 医療安全管理者養成研修	・医療安全ネットワーク病院連絡会の開催 b) 日本看護協会関係会議への参加	・医療・看護安全対策検討委員会
3) 関連機関団体との連携促進	a) 医療安全管理者の養成と質の向上 (e-learning の導入★) b) フォローアップ研修	・事務局 ・医療・看護安全対策検討委員会
8 災害時における活動体制の推進事業		・災害看護検討委員会
1) 活動体制等の整備	a) 災害対応マニュアルの改定★ b) 災害支援ナース登録の推進 (特に、離島) c) 支援活動に必要な物品の整備	
2) 災害看護に関する研修の企画実施	a) 災害支援ナースのレベルアップ研修 b) 災害支援指導ナースの育成 c) 関係機関との連携	
3) 災害訓練	a) 日本看護協会・鹿児島県・鹿児島市等との合同防災訓練への参加 b) 会員・災害支援ナースの周知	・災害看護検討委員会 ・災害支援ナース
4) 救護活動	a) 地区におけるイベント時の救護 b) 災害支援、ネットワークづくり ★ c) 県との災害協定後の支援計画の策定 ★	・地区長 ・災害看護検討委員会 ・業務執行理事

5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

項目	内容	関係委員会等																																				
1 組織強化・拡大 重点6																																						
1) 協会組織の強化 ①入会促進 ②地区との連携強化 ③看護師養成校との連携	a) 各事業・研修を通してのPR活動 b) 看護協会ホームページ・広報紙の充実 c) 県医師会との連携 d) 地区長会議 e) 看護学校行事 (入学式・戴帽式への祝電、卒業式への出席)、教育協議会への参加 f) 加入の数値目標の設定と実施★ (平成27年度入会率40%目標)	・会員管理担当者 ・業務執行理事 ・地区長 ・各委員会																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>策定時の 会員数(h24.7.5)</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>5,341</td> <td>5,561</td> <td>5,711</td> </tr> <tr> <td>南薩</td> <td>791</td> <td>810</td> <td>971</td> </tr> <tr> <td>川薩</td> <td>644</td> <td>674</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>出水</td> <td>510</td> <td>515</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>始良伊佐</td> <td>1,337</td> <td>1,437</td> <td>1,497</td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>1,562</td> <td>1,595</td> <td>1,692</td> </tr> <tr> <td>大島</td> <td>672</td> <td>681</td> <td>742</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,857</td> <td>11,307</td> <td>11,887</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	策定時の 会員数(h24.7.5)	25年度末	26年度末目標	鹿児島	5,341	5,561	5,711	南薩	791	810	971	川薩	644	674	724	出水	510	515	550	始良伊佐	1,337	1,437	1,497	大隅	1,562	1,595	1,692	大島	672	681	742	計	10,857	11,307	11,887	
地区名	策定時の 会員数(h24.7.5)	25年度末	26年度末目標																																			
鹿児島	5,341	5,561	5,711																																			
南薩	791	810	971																																			
川薩	644	674	724																																			
出水	510	515	550																																			
始良伊佐	1,337	1,437	1,497																																			
大隅	1,562	1,595	1,692																																			
大島	672	681	742																																			
計	10,857	11,307	11,887																																			
	(県外転出予定者34人含む)																																					
2) 円滑な組織運営 ①公益社団法人としての整備	g) 看護学校卒業生への協会長表彰の検討★ a) 公益移行後の組織整備 役員等の就業規定の制定等 ★ b) 代議員制度の検討 ★ c) 顧問弁護士の設置	・業務執行理事 ・規約委員会 ・事務局																																				
②県看護協会会議の定期開催	a) 事業目的達成に向けて各会議・委員会の連携、効率化 ・通常総会 ・職能別集會 ・理事会 ・運営委員会 ・職能委員会、 ・常任・特別委員会 ・業務検討会 ・研究倫理委員会 ・県看護連盟との協議																																					
③地区関係会議	・地区集會 ・評議委員会 ・各委員会	・地区長 ・担当委員																																				

項目	内容	関係委員会等
④日本看護協会関係会議への参加	a) 日本看護協会との連携を密にし、重点事業の目的達成をはかる ・日本看護協会通常総会・職能別集会 ・法人会員会・職能委員長会 ・地区別法人会・都道府県職能委員長会 ・担当学会議	・職能委員長
⑤役職員の資質向上のための研修・学会参加	a) 事務局・訪問看護ステーション・ナースセンター	
⑥会員登録管理	a) JNASでの管理 b) 会員管理の精度向上	・会員管理担当者
⑦館内外情報管理	a) 館内ランのセキュリティ対策 b) 外部情報のセキュリティ対策	・事務局
⑧災害時の対応	a) 現在は、火災訓練を行っているが、地震等発生時の研修生・職員の避難方法等の検討 ★	・事務局
2 広報活動 重点5		
1) 地域住民、看護職及び会員へ情報提供活動		
①広報紙の発行	a) 「看護かごしま」の充実（地区だよりの統合）★	・広報委員会
②ホームページの定期的改善	b) 認定看護師・副院長・災害看護・離島で働く看護職コーナーの新設 ★	・地区長
③本会事業関連冊子の作成と普及	c) ホームページ・看護かごしまへの各委員会活動等の掲載の徹底	・教育担当者 ・職能・常任・特別委員会、事務局
2) 社会への広報強化	a) 社会・マスコミへ向けた活動	・事務局
①関係機関・団体を通じた広報活動		
3) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進	a) 県民への広報 鹿児島県・市、県・市医師会等との連携	・看護の日・週間行事 実行委員会
①記念式典及びイベントの開催	b) 中学生・高校生のふれあい看護体験の募集・実施 施設への呼びかけ	・ナースセンター
②1日まちの保健室	c) 報告書の作成と配布	・地区長
③「ふれあい看護体験」		
④「出前授業」		
⑤「看護への道」進路相談		
3 会員支援に関する事業		
1) 看護職賠償責任保険制度加入促進		
2) 会員の福利厚生	a) 各種表彰制度への会員の推薦 b) 慶弔・災害見舞制度の運用 c) 災害支援ナース傷害保障保険加入 d) 役員・委員の傷害保険加入 e) テーマパークの入場料助成（平25～）	・業務執行理事 ・医療看護安全対策委員会
4 施設管理に関する事項		
1) 鹿児島県看護研修会館の管理	a) 中長期補修計画の提示・実施 b) 定期的保守修繕	・事務局
①建物設備の管理・運営		
2) 図書室管理・運営	a) ホームページでの図書検索 b) 雑誌、ビデオ、DVDなどの整理 c) 教育環境の整備	・事務局
①図書・文献等の充実		
②文献検索体制の整備		

お知らせ

(県委託事業) 平成26年度の一般病院医療従事者認知症対応力向上研修等事業のお知らせ

I 一般病院医療従事者認知症対応力向上研修は、鹿児島地区で2回、大隅地区で1回開催します。

開催日	時間	会場	講師
7月13日(日)	9時45分～12時	鹿児島県 医師会館	老人保健施設 愛と結 の街 施設長
	13時25分～15時40分		
8月3日(日)	13時25分～15時40分	リナシティかのや	黒野 明日嗣 先生

一般病院医療従事者研修では、他の医療従事者の方々と「認知症の人への対応～基礎と考え方～」について学びを共有しましょう。

II 一般病院看護師リーダー研修は、看護研修会館で2回開催します。

開催日	時間	会場	講師
8月23日(土)	9時45分～16時	鹿児島県 看護研修会館	社会医療法人製鉄記念広島病院 老人看護専門看護師 森山 祐美先生
8月24日(日)	9時45分～16時		

一般病院医療従事者研修で、「認知症の人への対応～基礎と考え方～」について学んだ上で、看護師リーダー研修では、事例検討を通して、ケアを振り返り、アセスメントをし直して望ましいケアを考えましょう。そして、認知症ケアをより質の高いものにしましょう。

副院長 新コーナー の部屋

Vol.1



医療法人三州会 大勝病院
副院長兼看護部長

齊野 敏江

病院の組織は、看護部門、診療部門、検査部門、薬剤部門、事務部門など多くの専門職種から成り立っています。その中、当院では診療部門及び看護部門に、副院長の職責が設けられています。大勝洋祐理事長より、医療の中心的な役割は医師及び看護師が担うべきであるとの考えから、看護部の責任者に対して、副院長兼館後部長の役職を付したのだと伺いました。

看護職は患者さんに24時間かかわる最も身近な職種です。患者さんやその家族から相談や苦情を直接受ける職種でもあります。最も頼られる存在でなければならないと思います。そのために、臨床の専門職の中で看護職がリーダーシップをとり、最善のケアを求めることが望まれているのではないのでしょうか。他部門との連携においては特に重要です。医療の高度化、細分化、専門化は今後も進むことが想定されますが、それぞれの境界域で多くのインシデントが発生します。他の部門のことであっても「看護スタッフの患者さんに思いを寄せるリーダーシップ」が、インシデント、アクシデントの減少につながると思います。

私たちの職場は病院外にも広がってまいりました。私の属する医療法人三州会では、地域社会の要請に応じて、大勝病院を核として居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、通所リ

県内には“看護部長兼副院長”という立場で病院経営に参画する看護師が13名おられます。看護師が副院長という立場になり職責を果たすことが、看護師の地位確立や経営安定化につながり成果をあげている病院が年々増えています。

今回、副院長になられて日の浅い方に原稿をお願いし、組織での役割や今後の目標について書いていただきましたので紹介します。

ハビリテーション、小規模多機能型居宅介護サービス、グループホーム、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などを設け、患者さんやご家族をサポートしています。これらの部門においても「看護職の患者さんに思いを寄せるリーダーシップ」が、運営会議等を通して求められています。

私は、副院長としての看護部長の職責とは、看護部の責任者であると同時に、看護職を代表して、他部門のことであっても患者さんに有用と思われることであれば、みんなといっしょに企画・調整し、尽くすことだと解釈しています。

大勝病院は、神経内科、リハビリテーション科を中心とする260床の病院です。患者さんは、家庭復帰、社会復帰に向けて根気強くADLの改善・QOLの向上に努めておられます。看護スタッフは他の職種のスタッフとも協力してチームワークで患者さんを応援しています。私自身は、患者さんを直接応援することは少ないのですが、スタッフへの応援を通して患者さんの笑顔をたくさん見られるように願っています。

次回は

社会医療法人 博愛会
相良病院

の副院長です。

めざせ! 認定看護師



新コーナー

平成25年12月現在において県内で勤務される認定看護師は159人です。認定の分野も様々で活躍の場も拡大してきています。

今回からの新コーナーでは、認定看護師の活動内容ややりがいを紹介してもらい、次世代育成につながればと思っています。

認定看護師紹介

「認定看護師の活動内容、やりがい」について

社会医療法人 博愛会 相良病院
感染管理認定看護師 上原 秋子

私は2013年6月に認定資格を取得し、感染管理認定看護師として活動を開始しました。活動内容としては手術室に所属し、兼務として感染管理にかかわる組織、医療関連感染サーベイランス、感染防止技術、職業感染防止、感染管理教育、相談、ファシリティ・マネジメントの7つの視点から当院の状況に合った感染管理プログラムを実践するべく、日々奮闘しています。具体的には実際に院内を巡視し、感染症発生状況の把握、対策の助言、教育・啓発活動、疫学的に効果が認められた感染防止技術を取り入れ、速やかに実行に移せるマニュアル作りに取り組んでいます。

感染管理は一人の力ではできません。リンクスタッフ、ICTメンバーと共に、最大の効果が得られるよう職種や部署を越えた人の輪を作っていくことも感染管理認定看護師の大切な役割だと考えています。そして、活動を通し、職員から感染対策上の問題について相談を受け、一緒に解決方法を考え実践することで問題が解決したり、様々な感染症の流行期には啓発活動をしなが現場スタッフと協同し影響が少ない状況で終息を迎えた時にほっとすると共にやりがいを感じています。

認定資格を得たことはゴールではなくスタートラインに立ったところ です。認定看護師として活動を始めて、様々な部門のスタッフから質問を受けることが多くなりました。すぐに対応できることもありますが、まだまだ未熟なことも多く、確かな情報を調べ確認し納得いくような対応に確信が持てたとき、少しだけ前に進んでいる自分を実感できることが嬉しく思います。また、同じ感染管理の認定の先輩や仲間との交流にとっても助けられています。研修中に苦楽を共にした仲間はいつも自分を励ましてくれる支えであり、県内のネットワークの先輩たちは私の活動を導いて下さる光明のように感じています。自分の施設のみならず、鹿児島県内全域の感染管理の向上に寄与できるような活動に参加できる喜びも感じています。このような仲間との出会いも私のやりがい感を高めてくれます。

まだまだ始まったばかりの認定看護師としての活動ですが、まずは、最新の知識を常に吸収し、現場で実践可能な感染対策を考え、全ての職員が同じように感染対策ができ、患者さんご自身も感染管理行動が高められるような活動を目指していきたいと思っています。



「認定看護師の活動内容、やりがい」について

社会医療法人 博愛会 相良病院
乳がん看護認定看護師 戸畑 利香

乳がん看護認定看護師教育課程は2005年秋に開校され、私は1期生として21名の仲間と共に、学ぶ機会を得て、翌2006年に認定看護師となりました。この4月からがん相談支援センターの室長として院内外の乳がんの患者さんの相談やケアはもとより、ケアに関わる看護職員の教育相談に応じています。

ご存じのとおり、女性のがん罹患率1位は乳がんです。子育て世代・働く世代が多いのも特徴です。患者さんは

多くの時間を自宅で生活しながら治療を続けていくこととなります。入院時のケアももちろんですが、専門病院として大切にしているのが看護相談外来です。病気についての「情報提供」や「説明」だけでなく、がんと告知されてからの苦しみや行き場のない怒り、家族への気遣い、入院するために必要な家庭や仕事との調整、そしてもちろん、術式や治療への迷い、治療にともなう心身の変化のことなど多岐にわたり、しかも混在する内容に対応します。患者さんが納得して治療に臨むことができるように支援しています。これをできるだけ多くの看護師が対応できるように看護部全体の専門性とケアの質の向上のための取り組みが必要です。私の役割がそこにあります。診断・告知期の看護において、衝撃から適応に向かう正常な心理反応を理解した上で治療への意思決定支援を行います。部署内でのミニレクチャーやカンファレンスを通して事例を共有し、個人の実践に繋がるようにしました。また、この時期の反応をアセスメントし記録に残し、継続看護に活かすことも部署間の連携として重視した事でした。

また、乳がんは、再発予防として手術後の薬物療法が重視されます。薬物療法後も約10年間は経過観察期間とされます。治療と生活の両立のためのセルフケアのヒントや、診療の経過を記録し、診療連携の資料ともなるサバイバーシップケアノート「リボン手帳」を作成し、患者さんに好評を得ています。患者さんが自らの力で取り組んでいけるよう患者教育として「乳がん集中講座」を通年で企画運営しています。

認定看護師の役割として、医療チームの中で職種間の連携や調整を図ることも重要な役割です。進行乳がんや再発後の患者さんやご家族と共に治療や生活について組織全体でACPに取り組んでいます。また、院内倫理コンサルテーションチームの一員として、合同倫理カンファレンスの推進役として、ディスカッションポイントを意識した事例のまとめなどを行っています。

さらに、院内外の看護師、看護学生を対象に乳がん看護についての講義、県内のがん看護向上のために活動している鹿児島がん看護研究会の事務局を担当しています。様々な活動を通して、「実践」「指導」「相談」をブラッシュアップしながら、後輩の育成にも力を入れていきたいと思っています。



研修報告



教育委員会では平成25年度に31回の研修会を開催し、延5,010人の参加がありました。昨年度と比べ研修会は3回、参加者も775人増えております。(平成26年1月31日現在)。

今年度は新たに2012年度の診療報酬改定を考慮した「看護補助者の育成と活用」、「感染管理者研修」「摂食・嚥下障害のある患者の看護」を加えました。

又、県委託事業の一般病院医療従事者の認知症対応力向上研修では、参加された方々から「表情を読み取り感情に訴える言葉かけが理解できた」「グループワークによる症例検討から他の病院スタッフと意見交換ができ情報を得ることができた。カンファレンスの過程が大事であると気づいた」等感想を寄せていただきました。教育委員もファシリテーターとして関わり認知症患者の看護に対する理解が深まりました。

「看護補助者の育成と活用」の研修を受講して

今村病院 松下 加代子

医療が高度化・複雑化している昨今、看護師の担う業務量は増大し、看護師が疲弊している現状がある。その中で看護補助者の活用が求められてきているが、活用を進めていくためには基準を明確にし、看護補助者への教育体制をまず整えていくことが必要であることを学ぶ機会になりました。自施設でも看護補助者への教育体制を構築していき、お互いに協働し、チーム医療で安心・安全な医療が提供できるように努めていきたいと思う。



「感染管理者研修会」を受講して

鹿児島厚生連病院 前野 奈津美

研修には多くの病院が参加していたため、グループワークで情報交換をすることができた。施設によって対応も状況に合わせており、課題も多くあるようだった。多くの意見を聞くことで刺激を受け、さらに知識を深め感染防止対策に取り組んでいきたいと感じた。



「摂食嚥下障害のある患者の看護～安全に食べることを支えよう～」の研修を受講して

南風病院 土師 彩花

私の勤務している病院でも摂食・嚥下障害のある患者が入院し言語療法士ができるケアや食事介助の知識を深めたくて初めて参加した。講義では食事前後の口腔ケアの重要性と食事介助の実際についてわかり易く学べた。病棟での看護の中に取り入れられる部分がいくつもあり有意義な研修であった。

実習指導者講習会を受講して



25年度生 喜界徳洲会病院 織田 将士

鹿児島県看護協会にて、昨年の11月25日から今年の2月7日まで『実習指導者講習会』を受講する機会があったので学んだことをまとめた。

実習指導案の作成は、それぞれ基礎・成人・老年・母性・小児・精神が9グループに分かれ、架空の看護学校を想定して、どのような看護学生にどのような実習指導を展開していくのか、3観（学生観・教材観・指導観）をまとめ週案・日案と具体的指導内容を約1ヶ月かけ講習最終日の指導案発表へ向けて取り組んだ。受講していた講義や、グループの担当支援者の先生方の助言もあり、発表内容はどのグループも講習を受けて学びえたものを発揮するものになったと思う。

私は内容も大事であると思うが、今あの講習会や過程を振り返った時に、要は結論ではないと思う。それは、指導案の作成や発表という目的やゴールを1つにしメンバーで話し合い、感じ、考えた事こそ大きな学びであり、貴重な財産であると私は感じたからだ。この講習で様々な分野で共通して聞いた「考えるプロセス」「思考の過程」「考える事の意味」「成長を促すプロセス」そして、「高校生を過ぎたあとの教育では、正解を探す事が正しい事ではなく、最適確になれるよう考える」といった、私が感銘を受け続けた言葉ばかりが心の中でずっと響いていた。実習指導していく立場の研修生を集めたこの講習で感じた事は、私たちの成長が未来の看護師を育てていくという事になるという意味と、自覚を持てたことは大きな糧になると思う。私たちの教育や指導が持つ大きな意味は、未来の看護や医療を育てていくという事にも影響がある。そのことを実感から確信に変えたのもこの講習会で得たものだと思う。

この講習会で学んだこと、感じたこと、共有できたこと、何よりこの研修メンバーとの出会いに感謝し、実習指導講習会を受講できたことを生涯の宝としていきたいと思う。私が、一人前の実習指導者になるであろう頃、この研修メンバーたちは、きっと次の時代を担う看護師を多く輩出しているだろうと私は確信している。



平成25年度実習指導者講習会修了生一同

学会委員会



第 47 回鹿児島県保健看護研究学会が平成 26 年 1 月 24 日に開催され、173 名の参加をいただき、9 題の発表を無事に終える事ができました。当日は、協力員・座長の協力を得て、スムーズに学会進行が行なえました。また、会場からはアドバイスを含む質問や意見もあり、発表していただいた施設や参加者の参考になりました。午後からの丹羽さよ子先生の教育講演は、研究発表の抄録を実例として示しながら説明して下さる等「看護実践をかたちに～看護研究への取り組み～」への意欲を抱かせる内容で、途中退席もなく皆熱心に聞いていました。

アンケート結果を見ると、保健看護研究学会への参加動機は、自分の研究に役立てたい (57.4%) 看護の実践に役立てたい (28.4%)、研究発表については、テーマや内容に関心が持てた (94.2%)、研究発表を今後の看護実践に活かせる (94.8%)、教育講演については、テーマに関心が持てた (95.5%) 内容を理解できた (91.6%) といずれも高い値を示しており、有意義な学会開催ができたと考えます。

近年、鹿児島県保健看護研究学会の演題応募は減少しているため、学会後のアンケート結果を踏まえ、この学会の位置づけを、「看護の質を向上させるための、初めて看護研究を行う院外発表をする場」と明確にし、支援・広報活動の推進を活発にすることによって演題応募数を増やしていきたいと考えています。

病院に限らず施設・訪問看護等からの演題も広く募集しておりますので、皆様の応募・参加を心よりお待ちしております。



「新人看護職員研修ガイドライン（改定版）」の公表について



平成 22 年 4 月より、新たに業務に従事する看護職員の臨床研修が努力義務とされ、厚生労働省で「新人看護職員研修ガイドライン」が作成されたのはご存知かと存じます。この度、「新人看護職員研修ガイドラインの見直しに関する検討会報告書」及び新人看護職員ガイドライン（改定版）が公表されました。

日本看護協会ホームページからダウンロードすることができますので、是非御活用ください。

「医療安全管理者養成研修」は平成26年度から、eラーニングによる研修を導入することになりました。



研修会場での受講が困難な方、日程が調整できず受講できない方、遠隔地や離島の方、看護管理者等受講困難な方にとりまして、eラン研修の導入は、都合のいい時間に受講できるという利点があり、学習機会の公平にもなります。（医療安全加算対象の研修です。）

なお、医療・看護安全対策検討委員会は、フォローアップ研修を年 2 回開催し、実際に医療安全管理者として活動している方々の資質向上をめざしていきたいと考えています。

受講申し込み・研修プログラム等詳細につきましては、平成 26 年度教育研修計画書（冊子）をご覧ください。

ナースセンターだより

平成26年度 ナースセンター事業

Vol.108



1 就業相談事業 (ナースバンク事業)

お仕事探しの看護職への就業相談、求人施設に対して看護職のご紹介、その他看護に関わる様々な相談窓口を開設しています。

- (1) 無料職業紹介・就職に関する相談来所・電話・FAX・インターネットによる相談
- (2) ハローワークでの就業相談(毎月第4木曜日)



- (3) 医療機関等の看護職員需要状況の把握
- (4) 看護職員実態調査(求人施設・求職者)
- (5) 県内の好事例施設の情報収集と発信
- (6) ナースセンターだよりの発行(年4回)

2 研修会

ナースセンターで主催する研修会をご紹介します。各研修会に関する情報は、鹿児島県看護協会ホームページ上にアップしますので御確認下さい。お申込み及び詳細のお問い合わせはナースセンターに御連絡下さい。

(1) 再就業支援セミナー

① 技術支援セミナー(鹿児島市) **新規**

採血・注射の看護技術を習得し、容易に職場復帰できることを支援します。(申込みはナースセンターへ)

開催時期:平成26年5月~平成27年3月(月1回)

開催場所:鹿児島大学病院看護部看護実践支援室

② 再就業支援セミナー(北薩地区・熊毛地区) **新規**

開催時期: 10月~11月(各4日間)

③ 助産師再就業支援セミナー(鹿児島市)

開催時期: 9月(6日間)



平成25年度
大隅地区再就業
支援セミナーの様子

(2) 平成26年度 訪問看護研修ステップ1 (180時間)

および訪問看護フォローアップ研修会

対象者:訪問看護に携わる看護師など

開催時期:平成26年6月2日(月)~11月22日(土)

※フォローアップ研修会は、10月25日(金)に開催予定

3 看護の心普及事業

(1) 「看護の日」記念事業(看護週間行事)

(2) ふれあい看護体験

中高生や一般の方が
病院や施設で「看護」
を体験します。



(3) まちの保健室

(4) 出前授業

(看護職が学生達に看護の魅力を語ります)

(5) 進路相談(看護職の資格取得の方法等)

4 その他

(1) 看護職のWLB(ワーク・ライフ・バランス)

推進ワークショップ

※平成26年8月11日、12日に開催予定

(2) フォローアップワークショップ

※平成26年12月12日に開催予定

(3) ナースセンターの広報活動

① 県下の看護学校との連携

② ハローワークとのネットワーク

新規 ③ 退職者への

ナースセンター登録呼びかけ

④ 県下の諸看護管理者会議の参加

⑤ 一般情報誌を活用した広報



など



募集中

平成26年度 訪問看護研修ステップ1 受講生募集!

<お申込方法>

受講申込書に必要事項をご記入いただき、下記連絡先まで持参または郵送でお申し込み下さい。(申込書は、看護協会ホームページ <http://k-kango.jp/> からダウンロードできます)

申込期間 4月7日(月)~5月9日(金)まで

【研修期間:6月2日(月)~11月22日(土)】

*詳細のお問い合わせは、ナースセンターまで

(Tel 099-256-8025)

看護の魅力を教室へ！

看護の出前授業（平成25年度報告）



出前授業とは？

看護職が実際に学校を訪れて、「看護の仕事やその魅力」「命の尊さ」を具体的なエピソードを交えて、授業を実施しています。

①みんなで話そう - 看護の出前授業（主催：鹿児島県看護協会、日本教育新聞社）

開催日：平成25年5月～平成26年3月

実施学校数：10校（中学校8校、高等学校2校）

受講者数（延べ人数）：中学生748名、高校生45名および保護者・教員

②鹿児島市性教育推進事業（主催：鹿児島市教育委員会）

開催日：平成25年6月～平成26年1月

実施施設数：24校（小学校14校、中学校8校、高等学校2校）

受講者数（延べ人数）：小学生895名、中学生1,335名、高校生1185名および保護者名226名、教員223名

③鹿児島県看護協会窓口の出前授業（主催：鹿児島県看護協会）

開催日：平成25年4月～平成26年3月

実施施設数：3施設（小学校1校、高等学校1校、社会福祉施設1施設）

受講者数（延べ人数）：小学生保護者16名と教員4名、高校生1196名、施設通所者15名



出前授業風景

生徒の感想より

- *看護とは、「まるごと人を見る」仕事であることがわかり、ますます看護師になりたいと思った。
- *大切な思いをして産んで育ててくれた親に感謝した。
- *両親からもらった命のバトンを落とすことなく、自らも次へと渡していきたい

講師の感想より

- *「誕生にはいろんな人のサポートがあることを忘れず、精一杯生きてほしい」ということや「自分や相手の心や体を大切にできる人になってほしい」と伝えた。
- *一方的でなく、学生・教員・講師みんなで授業を展開でき、とても嬉しかった。また参加した保護者が涙ぐむ場面もあった。

看護職の皆様へ（ナースセンター相談員より）

ナースセンターは、看護職の皆様への就業をサポートします。お仕事上の悩み、育児と仕事との両立についてなど、**一人で抱え込まずにお気軽にご相談下さい！**

また、ブランクが長くなるほど職場復帰への不安が大きくなります。お仕事を退職したら、**ナースセンターへの早めの登録**をお勧めします。

看護職を離れてブランクのある皆様には、再就業のためのセミナーを開催し、一人ひとりに応じた就業相談を開催していますので、**再就業への一歩として、ぜひセミナーにご参加ください。**

もし、看護職で求職中のお友達にも、ぜひナースセンターをご紹介下さい。

鹿児島県ナースセンター

[看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

◆窓口・お電話でのご相談◆

相談日 月～金 午前9：00～12：00
午後1：00～4：00

住 所：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5

電 話：099-256-8025

F A X：099-256-8079

E-mail：kagoshima@nurse-center.net

ネットで求人・求職 e-ナースセンター
<http://www.nurse-center.net>

鹿児島県の求人・求職登録状況(12月～2月分)

(人)

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
12月	13	3	333	16	365	12	2	126	19	159	0	1	15	1	17
1月	13	0	408	19	440	9	2	136	21	168	0	0	34	0	34
2月	16	0	451	20	487	10	4	139	19	172	0	0	30	0	30

お知らせ

1

県との災害協定締結

平成 26 年3月 28 日（金）、知事と鹿児島県看護協会長との調印式が行われ、協会からは、会長・専務理事・常任理事の業務執行理事3人が出席しました。平成 24 年 11 月 17 日の理事会で、締結に向けて事務レベルで検討を行うことが承認され、平成 25 年8月、知事へも要望をおこなったところです。全国では、すでに 25 県締結されており、九州では、宮崎・熊本に次いで3番目となります。

なお、県看護協会への災害支援ナースの登録者数は平成 26 年 3 月末現在 83 人です。県や鹿児島市主催の災害訓練にも積極的に参加頂いております。今後は、研修を受講していただきさらに登録者を増やしてまいります。また、災害看護検討委員会とも連携しながら、登録者の質の向上に努めてまいります。



(鹿児島県庁知事室にて)

お知らせ

2

看護の日関連

<「看護の日」記念式典>

日 時：平成26年5月12日（月）13：00～16：00

会 場：公益社団法人鹿児島県医師会館 4階大ホール

内 容：①ミニコンサート

②看護業務功労者県知事表彰

③看護業務功労者県知事表彰者の看護体験談

④講演「災害復興支援から伝えたい看護の心」

講師：保健師 合田 マリ子 先生

(鹿児島県職員を退職後、災害復興支援のため、福島県で平成 26 年 3 月まで保健師として活躍)

<「看護の日」まちの保健室>

日 時：平成26年5月17日（土）10：00～16：30

会 場：ダイエー鹿児島店 1階中央モール

内 容：測定コーナー（血管年齢、骨密度、血圧）

相談コーナー（健康、煙草、介護、「看護への道」進路・乳癌予防）

体験コーナー（脳年齢タッチパネル、BLS、妊婦疑似体験、プチナース体験）



看護の心 みんなの心に

5月12日は
看護の日

お知らせ

3

会館和室改修について

◎ 工事内容：研修会館2階の和室（3室）を撤去し、研修室を新設する。
アコーディオンカーテンで3室に仕切り、委員会に使用出来ます。

◎ 収容人数：50人程度

◎ 設 備：音響設備・映写設備（プロジェクター）
視聴覚室と同等の設備です。

◎ 工 期：平成 26 年3月 10 日～平成 26 年5月7日

お知らせ

4

慶弔見舞に関する規定の改定について(平成26年1月の理事会において承認)

会員が亡くなった場合、会長名による供花又は弔慰金及び弔電で弔意を表すこととしました。平成 25 年度に2名の会員が死亡（看護かごしま 平成 26 年1月号掲載）しておられますが、これまで、規定に基づき、会員死亡については、地区長からの報告により、弔慰金1万円を後日送っていました。

本会は、入会促進を大きく取り上げていることから、弔意を表すとともに、参列者に看護協会をアピールする意味からも会長名による供花又は弔慰金及び弔電で弔意を表すことにしました。

*そのようなことがありましたら、御遺族に御確認のうえ、地区長に御連絡くださるようよろしくお願いいたします。

おし
らせ



Facebookに登録しませんか?

5

鹿児島県看護協会 Facebook ページの「いいね!」ボタンを押して、理事会各委員会報告・研修会案内などの最新情報をぜひ手に入れてください。
(「いいね!」ボタンを押すには Facebook へのユーザー登録が必要です。)



↑こちらからどうぞ!

おし
らせ

6

会員特典としてハーモニーランドへご招待。

平成 25 年 12 月 14 日から平成 26 年 1 月 13 日(12 月 31 日の 19:00 からカウントダウン営業は対象外)まで、会員とその家族をハーモニーランド(大分県)の入場料を本協会に負担し無料招待しました。利用者は97名(24件)でした。特に、若い会員に好評であったことから、平成 26 年夏も実施することが理事会において承認されましたのでお知らせします。

期間限定 公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業
期間中(2014年8月1日(金)~8月31日(日))に限り

サンリオキャラクターパーク
ハーモニーランド

無料で招待
 【会員とご家族様 対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名2,900円)が無料! ※一部アトラクションは別料金となります。

4/26 新登場!
 料金: 一人500円
 対象年齢: 3歳~12歳未満
 ※保護者無料
 ※注意事項が記載されています。

サンリオ ニンジャトライアル

跳んだり登ったりすべったり!山あり谷ありのオリジナルアスレティックにチャレンジ!

キティロボット
 世界一かわいい自分だけの「キティロボット」を作ろう!

イルミネーション2014-2015
 1stシーズンは花火のあがる「イル★ミラクル」を上演!

★7月中旬 大型プール登場!★ ※年齢制限あり ※別途有料

ハレード・アクトア
 水の惑星・地球をテーマにした夏のエンターテイメント!

★印がイルミネーション開催日

2014年 8月の営業時間						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

イベント情報など詳しくはHPで!
 ハーモニーランド [検索](#)

ハーモニーランドゲストインフォメーション
 TEL.0977-73-1111

Harmonyland
 大分県速見郡日出町大字藤原5933番地

アクセスMAP

日出ICから約2分! (国道10号線沿)
 ©7/31/13/09/14 SANRIO

ご利用方法 下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会 会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。
 ※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。

お買い物・お食事でもお得な特典が! 園内で使えるお得なサービス券を、ご来園時にプレゼント!

利用申請書は鹿児島県看護協会のホームページからダウンロードしてください。

理事会 報告

◆第6回理事会 平成26年1月25日(土)14:30~17:00

◆協議事項 16名出席

- 1 事業推進に関する事項
 - (1) 平成26年度事業計画について
 - (2) 医療安全管理者養成研修に係るeラーニングの導入について
- 2 管理的事項
 - 1) 諸規則の制定及び改訂関係
 - (1) 定款施行細則の改正について
 - (2) 選挙管理規程の改定について
 - (3) 役員等の推薦及び推薦委員会における規程の制定について
 - (4) 地区規約の改定について
 - (5) 個人情報取扱マニュアルの改訂について(事務局・訪問看護ステーション・ナースセンター)
 - (6) 文書管理規程の再提案について
 - (7) 施設利用料金の改定について
 - (8) 認定看護管理者教育課程規則の改定について
 - (9) 謝金規程の改定について
 - 2) その他
 - (1) 平成26年度各委員選任の考え方
 - (2) 協会加入促進について
 - (3) 会館改修について
 - (4) 平成25年度収支予算書に係る注記について
 - (5) 訪問看護ステーション所長代行の選任について
 - (6) 弁護士の顧問契約について
 - 3) 会員支援関係
 - (1) 慶弔見舞に関する規定の改定について
 - (2) 平成26年度 鹿児島県看護協会名誉会員候補者について
 - (3) 平成26年度 鹿児島県看護協会会長表彰者の推薦について
 - (4) 平成26年度 看護業務功労者の表彰者の推薦について

★報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - (1) 再就職支援セミナーの実施について(鹿児島・大隅)
 - (2) 潜在助産師再就業支援セミナーについて
 - (3) 桜島爆発訓練の参加について
 - (4) 鹿児島行政評価事務所による「国及び都道府県における看護師等の確保対策の実施状況」調査
- 2 管理的事項
 - (1) 平成26年4月の理事会について
 - (2) 議事録(理事会・運営委員会・事業検討会)

◎その他

平成26年度通常総会の役割について
平成26年度日本看護協会地区理事の推薦について

◎ 毎回、日本看護協会理事会報告・職能委員会報告を口頭で、前回開催の理事会議事録・運営委員会議事録、各委員会報告・他団体会議報告・県外出張報告を書面で行っている。

◆第7回理事会 平成26年3月15日(土)14:30~17:00

◆協議事項 16名出席

- 1 基本方針
 - (1) 平成26年度重点事業及び事業計画について
- 2 事業推進に関する事項
 - (1) 平成26年度教育事業について
- 3 管理的事項
 - 1) 諸規則の制定及び改訂関係
 - (1) 選挙及び選挙管理委員会に関する規程の改正について
 - (2) 会計処理規則の改正について
 - 2) その他
 - (1) 平成25年度補正予算案
 - (2) 平成26年度予算案
 - (3) 平成26年度通常総会プログラム及び議案について
 - (4) 3職能集会プログラムについて
 - (5) 協会加入促進について
 - (6) かがしま国際看護フォーラム共催について
 - (7) 本協会が設置している「訪問看護ステーション鹿児島」における事務職の常勤化について
 - 3) 会員支援関係
 - (1) 平成26年度 鹿児島県看護協会名誉会員推薦候補者の決定について
 - (2) 平成26年度 鹿児島県看護協会会長表彰者の決定について
 - (3) 平成26年度 看護業務功労者の表彰者の推薦について
 - (4) 県看護協会名誉会員証授与式について
 - (5) 平成26年度 鹿児島県看護協会 職能委員の選定について
 - (6) 平成26年度 鹿児島県看護協会 役員・推薦委員候補者について
 - (7) 平成27年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者について
 - (8) 会員の福利厚生事業について(ハーモニールンド)

★報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - (1) 平成25年度事業報告(業務執行理事の職務の執行状況)について
 - (2) 助産師再就業支援セミナーについて
 - (3) 新人看護職員合同研修について
 - (4) 助産師出向支援モデル事業の進捗状況について
 - (5) 鹿児島行政評価事務所による調査について
 - (6) 平成25年度鹿児島県看護協会及び鹿児島県看護連盟連絡会議について
- 2 管理的事項
 - (1) 新型インフルエンザ等発生時における業務計画について
 - (2) 各種表彰候補者の推薦に係る進捗状況について
 - ①日本看護協会名誉会員 ②日本看護協会会長

会員の訃報

会員が亡くなりました。
会長名で、2万円の弔慰金を差上げました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。
坂口 瞳子様(享年44歳)

編集後記

今年度より2つの新コーナーを開設することになりました。県内にも様々な認定資格を取得された看護師が増え活躍されています。

会員の皆様にその活動と業務内容を知っていただくことで次に続く人材の育成風土を築く地盤作りになればと考えております。もう一つは、副院長兼看護部長で活躍されている方々のビジョンや夢を紹介していきたいと思っております。

おいどんが病院の掲載を13年間続けてまいりましたが今回より看護師の副院長紹介、離島医療、救急医療、おいどんが病院紹介の注目度の高い3つの柱で今後掲載予定です。ご期待ください。

看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp